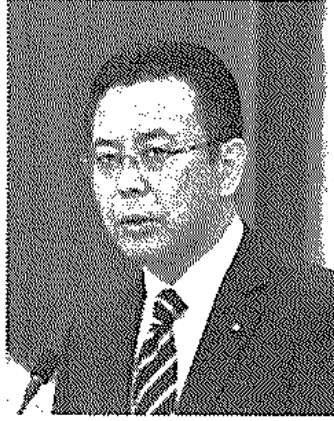


# 公益性や文化の観点も

高木  
(陽)氏 放送規制の見直し議論で

5日の衆院総務委員会で  
公明党の高木陽介氏は、政



高木(陽)氏 5日 衆院総務委

府の規制改革推進会議で議論されている放送規制の見直しについて、「産業政策だけでなく放送の公益性や文化の観点が必要だ」と主張した。

高木氏は、放送番組の政治的公平性などを求めた放送法4条の重要性を強調し

た上で、同会議の議論に対して「放送が民主主義の根幹を成す部分を担ってきたのは事実だが、会議の議事録を読むとそうした議論があまりされていない」と指摘。放送の役割を踏まえた議論の必要性を訴えた。

内閣府規制改革推進室の林幸宏次長は、「幅広い視点を踏まえて議論を深めていきたい」との考えを示した。